

組立～電子機器組立： 概要

職務遂行のために必要な知識

（概要）

電子機器組立とは、本体への部品の取り付けやプリント配線板の接続・接着等により、テレビ・ラジオやパソコン機器などの各種電子機器を組み立てたり、電気系やメカニズム系の調整や検査を行ったりする仕事をいう。

（仕事の内容）

電子機器組立の仕事は、大別すると、組立工程、調整工程に分かれる。生産形態は、流れ作業のライン方式で行う場合もあれば、最近ではセル生産方式で行うケースも増えてきている。

組立工程では、作業内容を十分に理解したうえで、作業標準に定められた作業方法に則り、部品の取り付け、プリント配線板の接続などの各種作業を行う。

調整工程では、マニュアルに定められた規格・基準に沿って、出力波形や出力電圧などの電気系統、基本動作や部品の位置の高さなどのメカニズム系統等に関する調整を行う。

組立・調整のいずれの仕事も、熟練するにしたがって、単一作業工から多能工への幅広い能力が求められると同時に、職場の改善・提案活動やグループ活動への積極的な参加が期待される。

（求められる経験・能力）

- （1） 入職に際して、公的資格は特に必要とされない。高校や専門学校を卒業してすぐに入職する者が中心であるが、最近では未経験の比較的若い男女が他職種から転職してくる場合も増えてきている。
- （2） 技能検定（電子機器組立）の資格（特級、1級、2級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。また、転職時にも、資格保有者は有利である。
- （3） 組立工の職場は集団で共同して行う場合が多いため、コミュニケーション力や協調性といった対人能力も求められる。

（関連する資格・検定等）

- 技能検定制度（職種：電子機器組立） 特級 1級 電子機器組立て作業 2級（1級に同じ）